

2026年度 北見藤高等学校シラバス

【教科】 【科目】	【国語】【文学国語】	2 年	2 単位	教科書	高等学校文学国語 (第一学習社)	副教材等		履修対象・ 使用教室 等	2 年 3 組 (選択) 特別教室 6
教科・ 科目 の 目 標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。								
評価 の 観 点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。			深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。			言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようとしている。また、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。		
評価 方法	＊単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、【A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況】とする。 ＊単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総合的な評価を行ったものを「5 段階の評定」とする。								
評価 資料 ・ 評価 比重 (100点換算)	評価資料等		予定回数・内容等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	単元テスト・課題		単元ごと			40	60	25	
	提出物		おおむね授業ごと			60	40	25	
	ふりかえり		授業ごと					50	
(観点別配分%)		(3 観点の比重を%で示しています)							
月進行 【計画】	【単元名】 学習項目名	配当 時間 【計画】	学習内容・目標 (到達点) など			主な評価資料		評価の重み付け【○●】	
						知・技	思・判・表	態度	
4 5	『山月記』	10	・本文全体から、虎になる前の李徴の人物を簡条書きで整理し、文章でまとめる。 ・李徴自身は、自分が虎になつたのはなぜだと考えているかをまとめる。 ・作者がこの作品を人間が虎になるという設定にしたのはなぜかを考える。			単元テスト・課題	○	●	○
						提出物	●	○	○
						ふりかえり			●
6 7	『旅する本』	12	・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。 ・言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。			単元テスト・課題	○	●	○
						提出物	●	○	○
						ふりかえり			●
8 9	『真珠の耳飾りの少女』	13	・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。			単元テスト・課題	○	●	○
						提出物	●	○	○
						ふりかえり			●
10 11	『こころ』	10	・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。			単元テスト・課題	○	●	○
						提出物	●	○	○
						ふりかえり			●
12 1	『こころ』	15	・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。			単元テスト・課題	○	●	○
						提出物	●	○	○
						ふりかえり			●
2 3	『バグダッドの靴磨き』	10	・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や文体描写、語句などの表現の仕方を工夫することができる。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解することができる。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。			単元テスト・課題	○	●	○
						提出物	●	○	○
						ふりかえり			●
学習の アドバイス	・単元ごとにテスト、あるいは課題を出します。それと日々の授業の取組をもって評価します。授業の時間を大切にしてください。 ・ふりかえりの記述は根気をもって取り組んでください。その日学んだことや感じたことを言葉にすることは大切なことです。習慣化しましょう。								